

2020年9月28日

多国籍企業学会・東西合同オンラインシンポジウム

—新型コロナウイルス問題と多国籍企業：多国籍企業へのインパクトと

これからの多国籍企業・多国籍企業研究—

多国籍企業学会東部部会・西部部会

1. 趣旨

経済・経営活動のグローバル化が進展する中、新型コロナウイルス問題は多国籍企業に対して、消費の低迷やサプライチェーンの分断など需要と供給の両面で国境を越えた影響をもたらしている。しかし、その一方で、本問題への対応を通して、多国籍企業には新たな製品・サービスや経営管理手法の開発といった変革をリードする役割も期待されている。

上記のような問題意識のもと、本シンポジウムでは、新型コロナウイルス問題がグローバルな経済社会や多国籍企業に与えたインパクトを整理するとともに、IT や自動車といった主要業界、さらには経営の各機能(マーケティングや人的資源管理など)における多国籍企業の対応方策に関する報告とディスカッションを行い、新型コロナウイルス終息後の多国籍企業の経営やこれからの多国籍企業研究について考えたい。

2. 日時

・2020年10月31日(土)13時30分開会(13時 Zoom ミーティングルーム開場)

3. 対象と実施方法

- ・本学会会員を対象(但し、本学会理事の紹介であれば会員外の参加も可)
- ・オンライン方式(Zoom)で実施(全3時間程度)
- ・参加希望者は下記リンク先のオンラインフォームに登録が必須。開催日前日に登録のメールアドレスに当日の Zoom ミーティング情報(URL)を配信予定。

【参加オンラインフォーム】(10/29 ~24:00 まで受付可)

<https://forms.gle/EQDGTpwXGkJ8k7mS6>

4. 内容

13:00～	東西事務局		Zoom 開場 (希望者はアクセス可。Zoom 使用方法等を画面表示予定)
13:30～	司会 進行	深澤琢也 (本学会本部事務局長)	東西合同シンポジウム開会
13:30～ 13:40	開会 挨拶	臼井哲也 (本学会会長)	趣旨説明・注意事項
13:40～ 14:10	基調 講演	小田部正明 (本学会名誉顧問)	コロナ禍が世界経済にもたらしたもの：日米比較から日本多国籍企業の経営のあり方を展望する
14:10～ 14:25	会員 報告	古川裕康 (日本大学)	アフターコロナにおける新しい日常とグローバル・マーケティングの変化
14:25～ 14:40	会員 報告	菊池航 (立教大学)	新型コロナウイルスとサプライチェーン：アップル社を中心に
休憩(10分)			
14:50～ 15:05	会員 報告	伊田昌弘 (阪南大学)	2つの『畏』の論点：米中覇権戦争を巡って
15:05～ 15:20	会員 報告	石田修 (九州大学)	コロナ問題が世界経済に与えた影響と今後の展望－スローバリゼーションの局面と関連させて
15:20～ 15:35	特別 報告	大木清弘 (東京大学)	レジリエンス or イナーシャ? :ポストコロナ時代の日系多国籍企業の選択
休憩(10分)			
15:45～ 16:45	パネルディスカッション		パネリスト：上記基調講演者、報告者(計6名) コーディネーター：安田憲賢(本学会東部部会長) 古沢昌之(本学会西部部会長)
16:45～	閉会 挨拶	深澤琢也 (本学会本部事務局長)	閉会挨拶・連絡事項

以上